

令和3年度事業計画

(目 標) “時代の変遷に対応できる力をつけよう”

令和3年度は介護保険制度と介護報酬改正の年です。

新型コロナウイルス感染症や災害への対応力強化を図りつつ、2025年に向けて2040年を見すえながら介護人材確保と介護現場の革新、自立支援と重度化を防ぎ必要な介護サービスを切れ目なく提供できる体制の構築を図るとして法改正が行われます。

喫緊の課題である介護人材確保については、介護福祉士が介護職員の中核的存在になり介護過程を展開した根拠ある介護サービスの提供や、チームケアを実践し業務の効率化を図る等、介護福祉士がチームリーダーとなり限られた介護人材で質を担保した介護サービスを提供することが期待されています。

今こそ期待されている社会的ニーズに対応し介護福祉士の専門性を実証することで、介護福祉士の価値を証明していくときではないかと思えます。

先輩から受け継いだ「研修なくして介護なし」を基本に仲間と学び合い、求められる介護福祉士像を目指し専門職としての力量を高めていきましょう。

また、コロナと共存していかなければならない今日、ご利用者が安心した日常生活が送れるよう自らが考え、知恵を出し合い、多職種と連携しながら専門職としての責任と誇りをもって行動できる仲間づくりも必要です。

会員の皆さんは、長野県介護福祉士会を共に育てていく大切な仲間です。

これからも会員を守り支え、会員の拠り所となり、会員が能動的に活動に参加し自己実現が図れ、社会的な価値が高められる介護福祉士会となるよう努めて参ります。

【具体的目標】

- 1、組織強化
- 2、資質向上を図り専門性を確立するための事業
- 3、災害や感染症等危機管理のための取り組み
- 4、介護福祉士の役割を担い地域包括ケア・共生社会の構築を推進
- 5、介護福祉の向上のための調査研究事業・福祉に関する普及啓発情報提供
- 6、行政機関や各種関係団体との連携強化
- 7、離職防止と再就職促進

【具体的取り組み】

- 1-1 入会率向上を図ります。
- 1-2 支部・ブロックの活動、研修を強化します。
- 1-3 広報紙やホームページ、フェイスブック等を活用し、情報提供していきます。
- 1-4 介護カフェ・ワークショップ等で、会員、非会員を含めた対話の場を作りつながりを広げます。
- 1-5 各委員会活動の充実、活性化を図ります。
- 1-6 会員への情報発信、受信がよりスムーズにできるよう継続検討します。
- 1-7 研修会館建設について再検討します。
- 1-8 オンライン等を活用した事業展開を図ります。

- 2-1 生涯研修体系に基づく研修、キャリアパス対応研修、専門的研修を実施します。
- 2-2 求められる介護福祉士像を踏まえた取り組みを推進します。
- 2-3 チームケア実践に対応できるリーダー育成に取り組みます。
- 2-4 会員の論文研究を支援し、介護福祉士の専門性を可視化できるようにします。
- 2-5 キャリアに応じた研修体系可視化を継続検討します。

- 3-1 災害支援体制の強化を図ります。
- 3-2 感染症発生時に多職種と連携し職能の役割が適切に果たせるよう支援します。
- 3-3 長野県災害福祉ネットワーク構成団体と連携、協働し災害支援を行います。
- 3-4 大規模災害時や災害に備え近隣都道府県介護福祉士会と連携、協力します。

- 4-1 地域包括ケアを推進していく専門職として、介護福祉士の役割を理解し実践力を高めるための研修を実施します。
- 4-2 医療、看護等、多職種連携協働を図ります。
- 4-3 地域包括ケア、地域共生社会、多職種連携等の研修情報を迅速に提供し参加の機会を広げます。

- 5-1 介護福祉に関する調査研究事業
- 5-2 論文研究事業（年6回）
- 5-3 コンサルタント事業（介護職機能分化等推進事業）
- 5-4 講演会の開催 6月19日（土） 松代文化ホール
- 5-6 公開セミナーの開催（11月）
- 5-7 介護の日「ふっころフェスティバル（11月13日）で介護技術コンテストを企画開催
- 5-8 講師派遣事業（広域連合介護認定審査会、長野県キャリア形成訪問指導事業）
- 5-9 介護福祉士養成施設との交流や連携を図り、介護福祉士を目指す学生を支援します。
- 5-10 出前講座等で、小、中、高校、地域等に、現場の介護福祉士がいき活きと働いている姿や、介護の魅力を伝えます。

- 7-1 離職時の届出制度の推進に協力し再就職支援につなげます。

◎資質向上を図り専門性を確立するための事業

2-1～3の具体的取り組み

①専門部会研修等

研修名等	期 日	会 場	内 容
サービス提供責任者部会	1日	松本市	サービス提供責任者研修受講者のフォローアップ
認定介護福祉士実践発表	6月19日 11月	長野市 長野市	総会、公開セミナー等で実践発表

②各種研修

研修名	期日	会場	内容
認定介護福祉士養成研修	4月～3月 (42日中の24日間)	JA長野県ビル	認定介護福祉士としての役割や使命を果たすために必要な知識・技術を獲得し、実践力を身に着けた介護福祉士を養成する
ファーストステップ研修	5月～3月 (16日間)	トイーゴ 大会議室	小規模チームのリーダーや初任者の指導係として期待できる者、また現場における的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践ができる指導的職員を養成する
介護福祉士基本研修会	11月～ (4日間)	JA長野県ビル	根拠に基づいた介護を実践するために、求められる介護福祉士像、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、求められる知識と技術、介護過程の基本的理解、介護過程の展開の実際を学ぶ
介護福祉士実習指導者研修	8月～10月 (4日間)	JA長野県ビル	介護の基本・実習指導の理論と実際・介護過程の理論と指導・スーパービジョンの意義と活用・実習指導の方法と展開・実習指導における課題への対応・指導者への期待
サービス提供責任者研修	6月～8月 (4日間)	未定	介護保険法と訪問介護、訪問介護計画、手順書の作成及び記録、他職種との連携及びコミュニケーション、事業所内で部下を指導教育する方法、サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応等を学ぶ
生活支援技術講習会 (指導者養成)	1日間	未定	生活支援技術の講師として、統一した基本技術の確認と、状況に合わせた技術が提供できるよう学ぶ
講師養成研修	2日間	長野市	研修の意義や目的を踏まえた講義を行うために、質の高い専門性伝達ができる介護福祉士を養成する
プリセプター養成 (新人育成研修)	1日	長野市	介護を取り巻く現状を把握し、新人を育成する手法を学ぶ

リスクマネジメント研修 (基本編・記録編)	2日間	JA長野県ビル	・介護サービスとリスク、再発防止の取り組み、管理者として必要なシステム作り、大規模災害対策を学ぶリスクマネジメント研修と現場を守るための記録の重要性について分けて実施
認知症研修	1日間	オンライン	認知症についての理解を深め、その場の状況に応じた尊厳のある関わり方の基本から応用までを習得する
多職種連携に関する研修	12月	松本市	住み慣れた地域社会で自分らしい生活を最期まで続けられるように、多職種連携、協同して総合的な支援していくことを学ぶ
看取りの研修	1月	松本市	人生の最終章をその人らしく支えるために、終末期の身体の状態を理解し、利用者・家族等との関わり方、他職種との連携について学ぶ
「介護現場での困りごと」 勉強会	4月14日	オンライン	自職場における困りごと事例を持ち寄り、倫理的視点に基づく解決方法を学ぶ
リハビリテーション 介護技術研修	1日	未定	日常生活を意識したリハビリテーションの意義を学び、実技を通して技術を習得する
災害ボランティア研修	半日	未定	災害時における介護福祉士としてのボランティアの在り方を学ぶ

③その他

- ・キャリアに応じた研修体系可視化を継続検討します
- ・支部開催研修→会員のニーズに応じた研修の企画

生活支援技術研修会	1回以上	各支部開催	・初任者向け研修 ・講師養成研修
研修・セミナー等	随時	各支部・ブロック開催	会員のニーズに応じた研修等の企画・立案・実施

・介護福祉士資格取得のための支援

講座名等	期 日	会 場	内 容
全国一斉模擬試験	12月初旬	2会場(東北信・中南信)	全国一斉模擬試験の実施

◎その他本会の目的を達成するために必要な事業

1) 諸会議の開催

- ① 定時社員総会 年1回(6月19日) 長野市 松代文化センター
- ② 理事会 年4回(5月、6月、12月、3月)
- ③ 三役会
- ④ 支部総会(年1回)
- ⑤ 支部役員会
- ⑥ 委員会の開催

ア 運営委員会 年6回

介護福祉士の事業運営を円滑に行うため、運営委員による協議検討、活動を行う

- ① 事業運営等を協議

イ 広報委員会 年5回

ケアワーク信濃やホームページ、フェイスブックを活用し、会の活動や・政策、介護に関する情報等を効果的に発信する。

- ① 編集会議 年5回、ホームページ担当者会議 年2回
- ② ホームページ、フェイスブックの有効活動
- ③ 会員への情報発信受信がよりスムーズにできるよう継続検討

ウ 研修委員会 年3回

- ① 介護福祉士の専門性を高めるための研修運営、企画について討議(ホスト学習会を含む)
- ② 支部研修、ブロック研修のサポート
- ③ 組織委員会と連携を図り、研修時に介護福祉士会入会案内を実施

エ 組織委員会 年6回

会員の拡大と組織の充実を推進するための協議と活動職能団体に所属する意味を知り新規資格取得者、資格保有者、会員への啓蒙

- ① 新規会員勧誘活動
- ② 介護カフェ企画、開催
- ③ 介護福祉士意識調査
- ④ 介護福祉を伝える活動への働きかけ

オ 災害対策委員会 年6回(運営委員会に合わせる)

- ① 災害支援マニュアルの見直し
- ② 災害ボランティア基礎研修の企画と開催
- ③ 本会以外の災害支援に関する研修への参加

カ 地域福祉委員会 年6回

時代のニーズに求められる研修等、経験豊富な方々の力も借りながら、協議し企画、次世代へとつなげていく。

- ① 文集の作成
- ② 研修交流会
- ③ 研修旅行
- ④ その他役員会において計画された事業

2) その他

- ① 日本介護福祉士会総会(代議員会)(5月29日)(東京都)
- ② 日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会(11月21日) オンライン開催検討中
- ③ 組織運営管理事業